



図書館革命

～ヒトとマチをつなぐ場所へ～



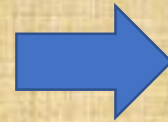
甲賀市民のニーズ

自習スペース増やしてほしい

学生が気軽に滞在できる場所がほしい

旧5町内で利便性に格差がある

貴生川駅周辺に賑わいがほしい



図書館で解決！



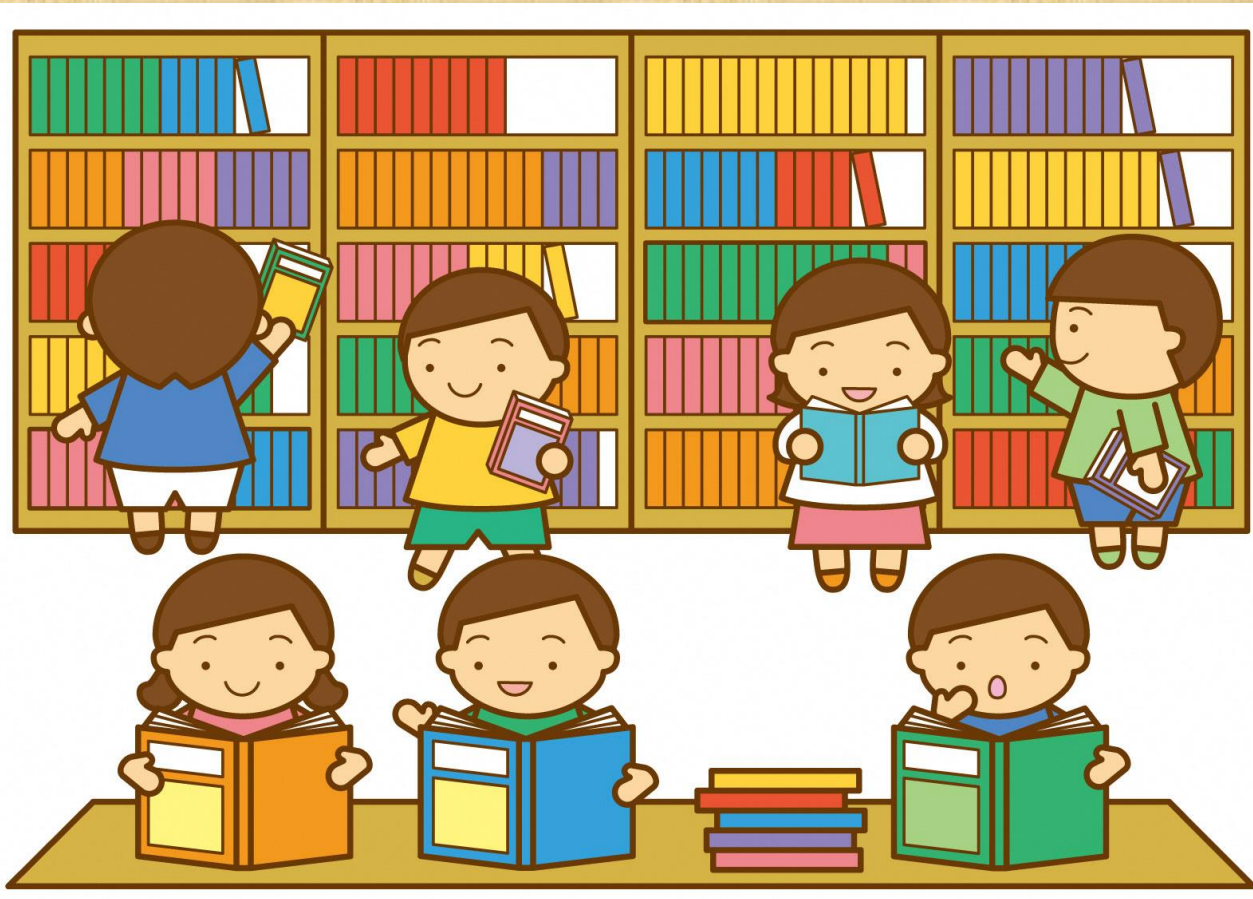


2040年のビジョン～どんな甲賀市にするのか～

今日も図書館にい“こうか”



pixta.jp - 17605876





なぜ図書館に注目すべきなのか？

図書館はコミュニティの形成やまちづくりの一環も担っている

『日本一の図書館』があるまち

大和市文化創造拠点シリウスとは ▼

大和市 図書館情報 ▼



図書館 城下町



大和市HPより

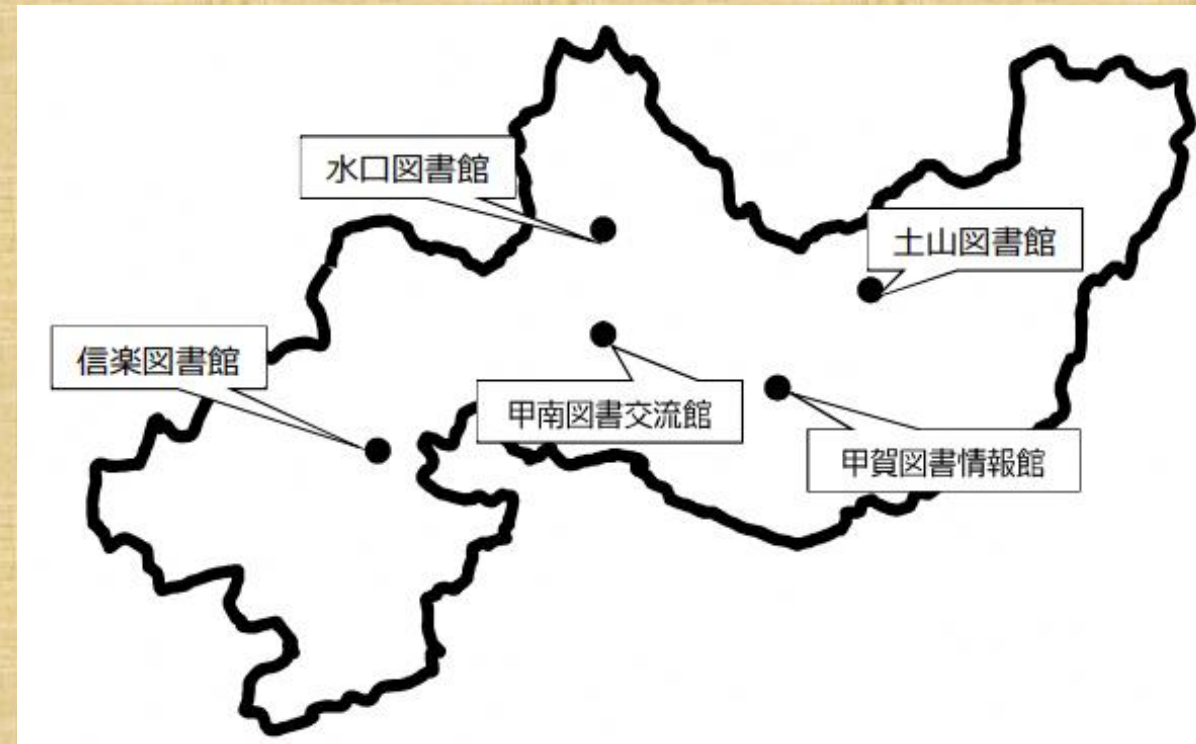


甲賀市図書館を重視する理由

旧5町全てに図書館が存在する
⇒ 甲賀市の誇る貴重な財産

人口10万人当たりの図書館数
全国平均：2.6館
甲賀市：**5館**

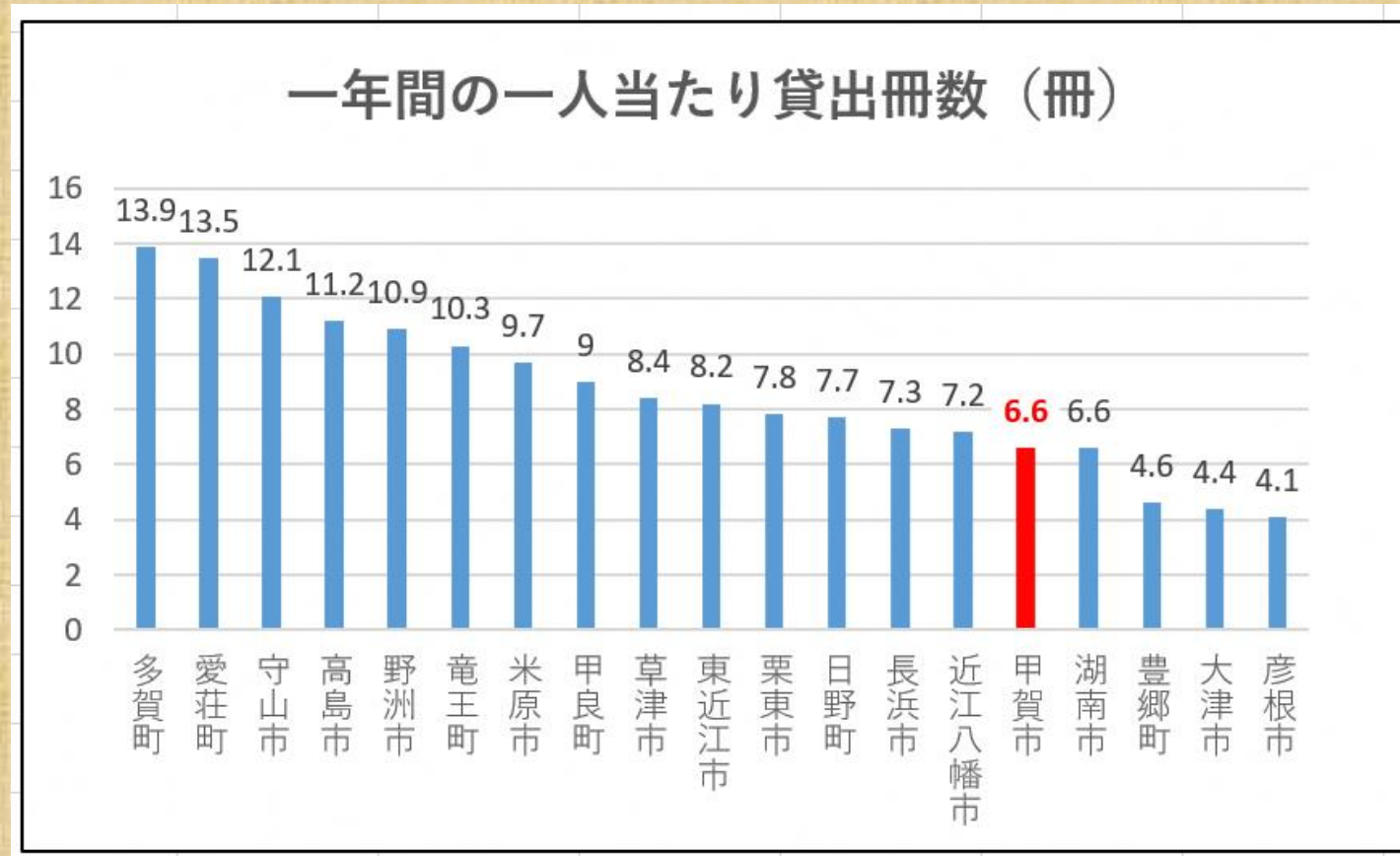
(総務省統計局2015年データ)





甲賀市図書館における課題

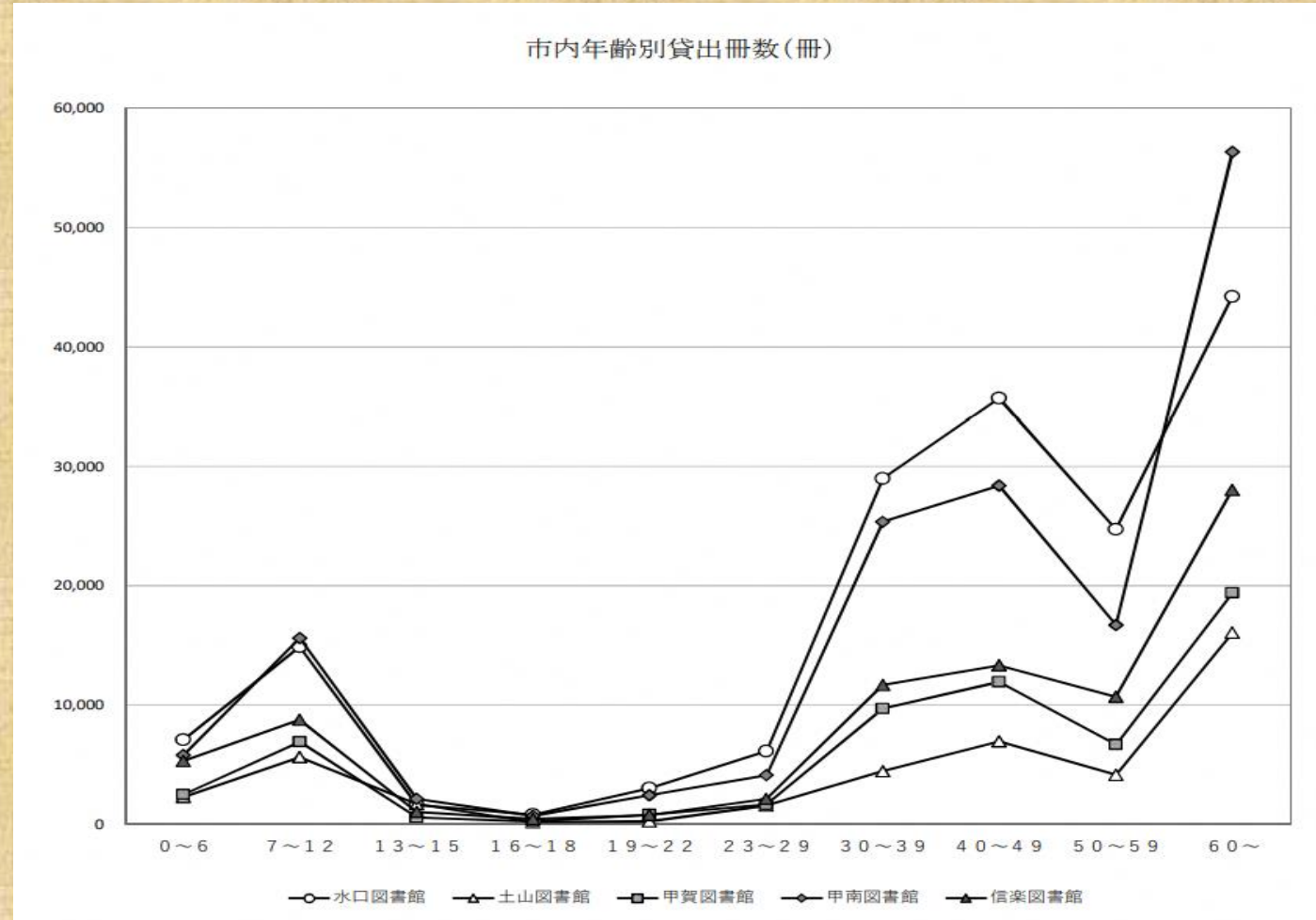
滋賀県内での貸出冊数は下位





甲賀市図書館における課題

若者利用が極端に少ない





私たちの政策

**政策①水口図書館の建て替え
～貴生川駅を中心とした複合施設～**

**政策②市民の参画社会に向けて
～図書館×特産×市民～**



政策①

水口図書館の建て替え ～貴生川駅を中心とした複合施設～

目的: 市民の交流場所を増やすため

滞在型の施設にし、甲賀市のニーズに応えるため
特産物を活用・広めるため



複合施設概要

- 1階：図書館・子ども(フリー)スペース
- 2階：図書館・自習室
- 3階：カフェ・キッチン・ラウンジ・ギャラリー・会議室
(公民館の役割)

- 予算総額：1,020,000千円

【内訳】

$850\text{m}^2 \times 3\text{階} \times 400\text{千円} = 1,020,000\text{千円}$

(一階分の面積 × 階数 × 1m²あたりの単価)

公共図書館の
投資には意味が
ある！

貴生川駅南口複合施設(新水口図書館)建設予定地

Google



貴生川公民館跡地に
駐車場を整備

貴生川駅徒歩すぐ
のアクセス



図書館

- ・ゆっくり座って読める滞在スペース
- ・車いすでも通りやすい広い通路を確保
- ・高校や大学のパンフレットや過去問を配置(守山図書館を参考)



子ども(フリー)スペース

- ・図書館の一角に子どもがはしゃいで本に触れあえるスペース
- ・子ども同士の交流にもつながる
- ・親の休憩スペースも併設



自習室

- ・ 駅周辺に塾が多いので隙間時間の利用を想定
- ・ 飲み物は持ち込み可能とする
- ・ Wi-Fiやコンセント、USBポートなどを完備



カフェ・キッチン

- ・特産物を活用したメニューを提供
- ・幅広い世代のコミュニティが生まれるカフェ



ラウンジ・ギャラリー

- ・市民の交流が生まれる場所
- ・甲賀市にゆかりのある作家作品の展示や、市民の作品発表の場として活用



現水口図書館跡地の利用方法①

■水口第二子育て支援センターとしての活用(ここも〜りを参考)

⇒水口地域に子育て世代が増加することを想定





現水口図書館跡地の利用方法②

■ 日本語学校や在住外国人の支援センター（多文化共生）

⇒ 甲賀市は外国人人口の比率が**県内3番目**（2021年現在）

⇒ 工業団地も多く、ファミリーでの定住を促進できる





政策②

市民の参画社会に向けて ～図書館 × 特産 × 市民～

目的：図書館での滞在時間を延ばす
地元の食材に触れる機会をつくる



新水口図書館

改革①コミュニティカフェ

コンセプト：笑顔を作る参画スペース

内容：会話や交流の場であり、多くの人提供可能な
カフェスペース

改革②ギャラリー

内容：信楽焼ジャンクアート展示、市民サークルの発表の場
小中学生の作品発表、有名作品(作者)の展覧会



甲南図書交流館

改革①炊事場の活用

- ・現在は使われず放置されている、炊事場を利用
(大規模なものではなく、飲み物のみの提供など)

改革②高校や地元菓子店とのコラボ

- ・甲南高校や「菓子長」などの商品の販売所にする



甲賀図書館情報館

改革:かふか生涯学習館カフェのPR活性化

- InstagramやTwitterなどのSNS又はYouTubeの活用
- 市の掲示板や広報などの利用
- 読書通帳を活用し、学校や広告として家庭への配布
QRコード等も用いる



You **Tube**

【図書館との相互利用を促す】





信楽図書館・土山図書館

改革：移動図書館×特産品キッチンカー

課題：中山間地域のコミュニティ不足
図書館までのアクセスが不便

解決策：移動図書館を地域住民へ拡充（現在は小学校のみ運行）
キッチンカーの併用で話題性と滞在時間を延ばす

活用例)うぐい川×図書×土山茶で
朝の読書タイムを楽しむ活動

予算総額：3,000千円程度

【内訳】キッチンカー本体：3,000千円程度

※市がキッチンカーを購入し、NPO法人や事業者など様々な団体に有償で貸すことで、最終的には初期費用を回収できる形態を目指す。

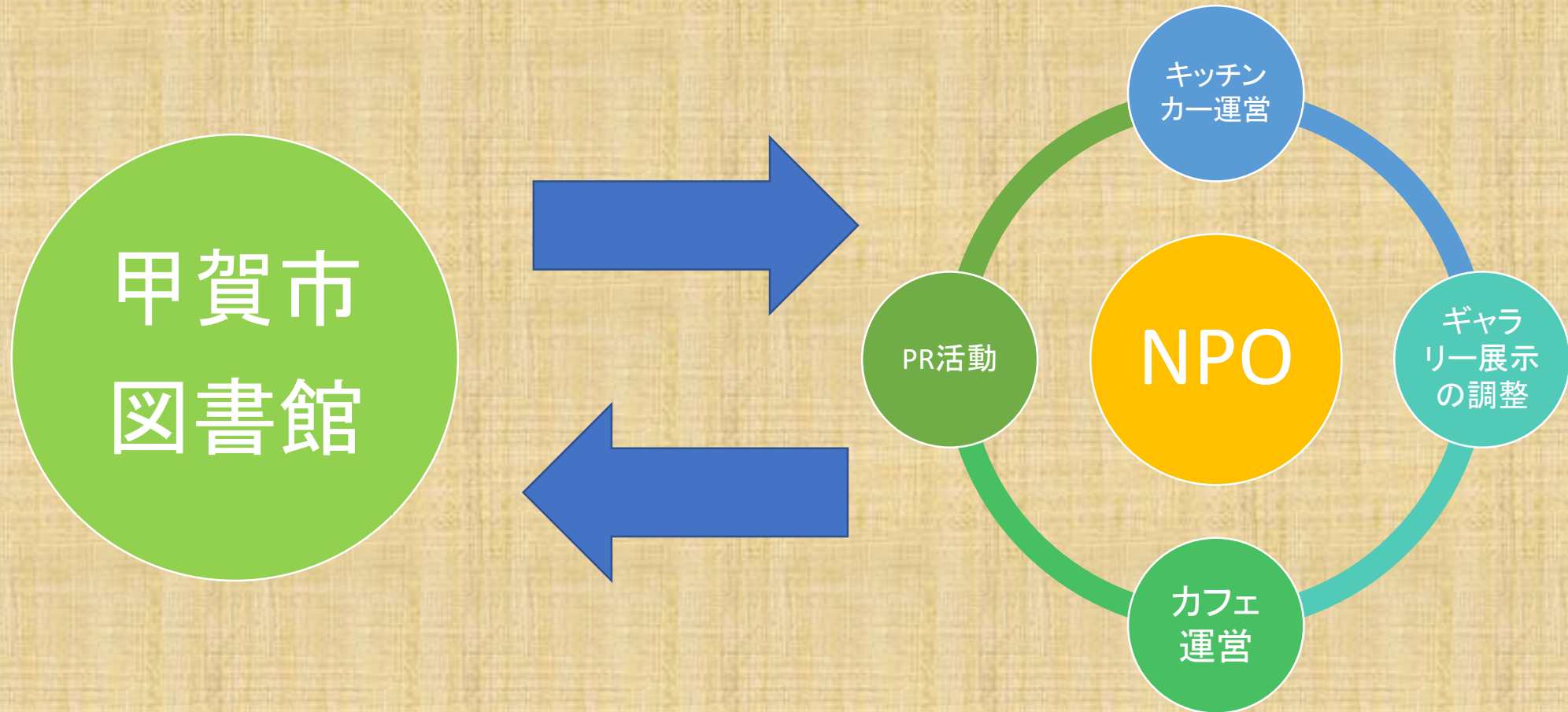




政策②を実現するために

NPO法人の設立

目的：図書館付帯施設の運営やPRを担う





まとめ

二つの重点政策達成で、実現できる甲賀市の未来



- ・市民の憩いの場所が増え、コミュニティが広がる
- ・特産品を市民に幅広く知ってもらえる
- ・旧5町全ての地域に活気が溢れるまちになる
- ・本と触れ合う時間が多くなり、市民の教養が広がる



ご清聴ありがとうございました